

# 安心安全対策特別委員会 中間報告

本特別委員会は、現委員においては合計18回委員会を開催し付議された事項について協議検討しました。

「駐留軍等再編計画に伴う安心安全対策に関する事項」については、米軍機低空飛行訓練目撃情報、航空機の騒音苦情件数、在日米軍に関する情報など、その都度執行部から報告を受けました。「自然災害等に伴う安心安全対策に関する事項」については、「大竹市議会大規模災害対応指針」及び「大竹市議会大規模災害対応行動マニュアル」を作成し、大規模災害時における議員の役割や対応を明確にしました。また、災害時に重要な役割を果たす「防災行政無

線」について、一部地域ではアンケートを取り、市内4地区での聞き具合の現地調査をしたうえで協議、検討しました。それらの内容とその他協議したことを踏まえ、今後の防災対策等に反映していただくよう市長に対し提言しました。

## 安心安全対策特別委員

委員長 北林 隆  
副委員長 網谷 芳孝  
委員 和田 芳弘・大井 涉  
見玉 朋也・山崎 年一  
上野 克己・原田 博

### 自然災害等に伴う安心安全対策に関する提言書(抜粋)

平成25年9月11日から平成27年6月9日の間、安心安全対策特別委員会を開催し、また、委員派遣をして協議、研究した結果、自然災害等に伴う市民の安心安全確保のためには様々な課題があり、それを少しでも解消するために、次のとおり市長に提言する。

#### (1)災害時の議会の役割

大規模災害が発生したとき、議会は、市執行部と連携し、被災者の救援及び市の災害復旧のために、非常の事態に即応した役割を果たす。また、議員は、地域の一員として市民の安心安全の確保に努める。

#### (2)防災情報の伝達方法の多様化

確実な防災情報の伝達は、災害時にはきわめて重要であることから、防災行政無線以外の情報伝達方法の多様化について検討すること。

#### (3)防災情報の共有化と啓発活動の推進

防災・減災に向けて、行政は「公助」のため取り組み、市民は「自助」・「共助」の重要性をまず理解したうえで、自らの地域防災力を向上させることが必要である。

そのため、市民・関係機関・行政は防災情報を共有するとともに、行政は、市民の防災意識及び防災知識の向上を図るための啓発活動を推進すること。



## 第2回市議会(定例会) 議案の審議結果表(主な議案)

議案号	議案など	寺岡公章	和田芳弘	大井涉	網谷芳孝	藤井馨	乃美晴一	児玉朋也	北林隆	山崎年一	細川雅子	上野克己	原田博	二階堂博	田中実穂	西川健三	山本孝三	審議結果	
議案第38号	訴えの提起について	—	○	●	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	原案可決
議案第39号	大竹市太陽光発電設備基金条例の制定について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第40号	大竹市総合福祉センター設置及び管理条例の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第41号	大竹市立学校設置条例の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第42号	大竹市と廿日市市との間における一般廃棄物処理事務の委託に関する協議について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

この表は本会議で採決のあと、本人の申告にもとづいて作成したものです。 —: 議長 ○: 賛成 ●: 賛成でない